

足腰の強い農業経営の 実現のために

助成苗木配布始まる

複合経営の推進を図る対策として、りんご苗木・桃改植などの助成事業のうち、りんごの苗木配布が四月十一日、平賀地区から始まった。事業は平成二十二年度から三カ年で行われる農業振興計画に基づく、生産力の強化と所得向上対策の一環。

この計画では、それぞれの地域の特性により、りんご・米・桃・野菜・畜産・ハウス栽培などの組み合わせによる複合経営を推進し、農業生産基盤ならびに農家経営の維持・安定を図る。

平成二十二年度は、四千五百万円を予算化、りんご(苗木)、桃(改植及び苗木)、トマト(ミニトマト含む)Ⅱ苗)、にんにく(種子)、アスパラガス(苗)、花卉(種苗)、高冷地野菜(緑肥種子、堆肥)、ビニールハウス(施設費)、新規作物(種苗)に対して助成。

このうち、りんごに関しては、昨年十月から十一月にかけて申込みを受け付け、それに基づいて品種更新や園地の若返りを進め、複合経営の推進を図る対策として、正組合員(二戸一組合員)に苗木五十本以内、一本当たり七百元以内を助成し、千五百万円を予算化。

今後、各地域で苗木を配布、生産資材価格の高騰が農家経営に多大な影響を与えている現状を踏まえ、組合員のコスト負担を軽減することを目的とした支援策を実施する。



黒石地区



みなみ地区